

翔友会の活動

1993年度翔友会行事とスポーツユニオン等参加行事

1993年

- | | | |
|--------|------------------------------|--------------------------|
| 2月20日 | 翔友会総会 ホテルオークラ(京都四条) | 小野会長以下35名学生7名 |
| 3月7日 | 全国学生グライダー選手権大会 妻沼滑空場 | 河合支部長以下9名応援 |
| 4月25日 | 小野先生謝恩会 京都パークホテル | 永田副会長以下72名学生24名 |
| 5月16日 | 翔友会幹事会 玉井石油事務所 | 永田副会長以下17名学生2名 |
| 6月5日 | スポーツユニオン総会 今出川至誠館 | 永田、橋本、牧野、佐々木、渡辺(洋)、政、玉井、 |
| 8月29日 | 翔友会幹事会 玉井石油事務所 | 永田副会長以下16名学生2名 |
| 10月23日 | 翔友会ゴルフ会(第7回) 彦根カントリー | 橋本以下16名 |
| 10月31日 | 翔友会幹事会 玉井石油事務所 | 永田副会長以下17名学生1名 |
| 11月21日 | 日本学生航空連盟関西OB会
伊丹空港ターミナルビル | 永田副会長以下20名 |
| 12月4日 | 東海支部木曾川合宿激励とゴルフ会 | 橋本(大阪)、向井、加藤(賢)、中村、宮地、 |
| 5日 | 東海支部日吉ハイランドで親睦ゴルフ会 | |
| 12月24日 | 翔友会関東支部忘年会 ワイズ・カフェテリア | 河合関東支部長以下16名 |

1994年

- | | | |
|-------|--------------------------------|----------------|
| 1月23日 | 翔友会幹事会 玉井石油事務所 | 吉川副会長以下16名学生3名 |
| 1月29日 | ユスポーツユニオン祝勝会並びに懇親会
京都パークホテル | 橋本、渡辺(洋)、政、 |
| 2月19日 | 翔友会総会 新島会館 | 小野会長以下49名学生8名 |
| 3月12日 | 全日本学生グライダー選手権大会 妻沼 | 樺島以下15名応援 |
| 4月3日 | 窪田監督御苦勞サン会 除園 | 小野会長以下70名学生20名 |
| 4月9日 | 復元する会 田辺格納庫 | 牧野以下10名 |
| 4月24日 | 翔友会幹事会 玉井石油事務所 | 吉川副会長以下13名学生2名 |
| 5月7日 | スポーツユニオンゴルフ会
亀岡カントリークラブ | 窪田、南村、西山、大久保、 |

純なる者は永遠に

速見直喜

永田 猛、翔友会副会長の開宴のご挨拶に始まる「小野 哲先生謝恩会」は、平成5年4月25日、京都パークホテルに於て、奥様にもご出席を頂き、盛大に執り行なわれました。

元航空部長、木枝 燦先生のご祝辞には、思わず胸があつくなりました。

窪田昌三監督(当時)新庄博志教官(現監督)那須浩司主将(当時)による感謝の言葉につづき、航空部創設時の部員、橋本元雄先輩による記念品贈呈、太田朋子(昭和56年卒)さんのお子様による花束贈呈、そして小野先生のご挨拶……涙とほほえみの中、第一部セレモニーの時間は、流れて行きました。

先生は、昭和31年より平成5年まで、実に37年間の長きに渡り、航空部長を務められ、その間、ご指導を頂いた翔友会員は221名、全翔友会員の74%にも及びます。

本当に頭の下がる思いであります。

引き続き、第二部懇談会が、牧野鐵五郎元監督による乾杯のご発声と、新航空部長、坂口一彦先生のご挨拶の後、始められました。

北尾直敬元学連訓練部長、三浦智介顧問(当時)

土田正明ヘッドコーチ(当時)をはじめ、大勢の翔友会員による楽しくて、心あたたまる小野先生への感謝のテーブル・スピーチが、吉川禎一、翔友会副会長の閉会のご挨拶まで、とても和やかな雰囲気の中、続けられました。……

鳥の様に、空を自由に飛びたいと思っていた、あのころの人々の、空に対する清明な憧れを、今も持っておられる小野先生……

先生の何時も変らぬ飄飄としたお姿に接するたび、つくづくと思います。

「純なる者は永遠に」先生、長い間、ありがとうございました。

(昭和49年文卒)



北尾直敬 OB F.A.I. より受賞

永年日本学生航空連盟の訓練部長として学生の指導と育成に尽力されたので、F.A.I. (国際航空連盟) より『学生航空活動及びグライダースポーツ全般の健全な発展を支え、その普及、振興に貢献した』とのことで1993年9月20日の空の日に赤坂プリンスホテルでスポーツメダルと感謝状を授与されました。エアスポーツメダルは、日本滑空会初の受賞です。

翔友会の会員から国際的に評価される方が誕生するのは大変嬉しいことに存じます。会員の皆様と供にお喜び申し上げます。



スミソニアン 航空博物館紀行

渡辺 洋一 石元 勲
川上 哲也 玉井 利宏

われわれ空に思いを寄せる者はだれでも一度は行ってみたいところ、アメリカの首都ワシントンの国立航空宇宙博物館 (National Air and Space Museum, NASM と略す)への計画がまとまり、最終的に四人のメンバーで02/21~02/25の日程で飛ぶことになる。

ワシントンへ 成田 (NRT) 11:35発 (NH002) の全日空機

16:10 大陸近かし アラスカ湾 シトカ (Sitka) から 400km 地点

高度 11,277m (37,000ft), 対地速度 990km/h, 外気温度 -41°C , 目的地まで 4928km, 所要時間5:23h, 現地時刻4:14, 到着予定9:38(飛行情報が飛行経路図とともにディスプレイに表示される)

21:30 (7:30AM) モーニングコール これまで2回の食事がでており、酒も多少は嗜む。食事後、機内を暗くし一応就寝の時間であるが、眠れない。熟睡している人もいるが。

7:40AM 時計はすでに現地時刻に合わせてある。左窓東側日の出近く空が赤らむ。

7:50 朝食 オレンジジュース、サンドイッチの簡単な朝食

7:55 ディスプレイはシカゴ近く ミネアポリス上空 961km/h, 11,277m, -51°C あとワシントンまで 1413km, 1:40h, 7:58AM, 9:38 到着予定。

ワシントン到着 予定通りダレス空港 (IAD) 着 日本時間では体は夜中であるが、現地時間では朝になり、眠い。出発前は寒さを非常に心配したが、それほどでもなく、ほっとする。小雨。半日観光に張り切っ

て出かける。行程に NASM も含まれており下見をする。短時間であるが目的の博物館も見ることができ、眠気も吹き飛ばす。

ワシントンでの航空部同窓会 坂田 博 君(58年卒、アイシン USA 勤務)がかねての打ち合せ通り、インディアナ州の勤務地から合流し、同宿してくれる。

明日は一日一緒に見学できるので心強いかぎりだ。夜遅くまで語り合う(ビールが安い、1ダース7\$、スーパーで仕入れる)。滞米は5年の予定で、あと一年余りとのこと。工場では、米人の課長付きで品質管理の仕事をしており、言葉には不自由ないようだ。

航空宇宙博物館見学 02/22快晴 7:30ロビーに集合(ホテルはクオリティ ホテル ダウンタウン)終日見学の予定

五人でまずワシントン記念塔(Washington Monument)へ 何かセレモニーが行われるようで午前中見学できず 目的の博物館は10:00オープンなので徒歩でキャッスル (Castle)へ スミソニアン協会ビルのことで、本部になっておりインフ

ォメーションセンターやショップなどがある。

ジェファーソン通りに面したメインゲートを入るとマイルストーン・オブ・フライトのコーナでまず目につくのが“ライト兄弟1903フライヤー”号である 操縦席に横たわっているのは Orville Wright で Dec 17, 1903に世界ではじめて動力飛行に成功した このときの飛行は120feet を12秒間飛んでいる 補助翼も現在のような構造ではなく主翼をワイヤーでねじるようなもののものである パンフレットによれば、同じくキティホークで Wright Glider を飛ばしたという記述がある ホールにはその他の最新の飛行物体と展示されており、われわれの空への夢を現実のものとした情熱に一層の感慨を覚える

二階に上がると第二次世界大戦の戦闘機が展示されておる。わが零戦の雄姿もあり、プロペラがいまにもまわりだし飛びたちそうな感を受ける この機体は52型の最新モデルで、別の機体を復元して



日本まで飛ばすという新聞報道もあるので、今一度飛ぶところをみたいものである。

どの博物館もすべて入場料は無料で、ショップでの買い物にも税金はかからない。NASM で唯一有料は大画面の映画館 (Samuel P. Langley Theater) で \$3.25 で予約の上入場し動きのある映像に酔う。やはり静止しているものより、大空を自由に飛ぶ欲求にかられる。

スミソニアンミュージアム群及び国会議事堂見学

02/23雨 テレビの天気予報で WINTER HANGS ON SHOW/SLEET とでている明日の天候が心配だ
モールと呼ばれるワシントン DC を象徴する地域にはスミソニアン協会のミュージアム群をはじめ、ワシントン記念塔、リンカーン記念館等が公園地帯にある。ワシントン記念塔 モールのほぼ中央にそびえたつ石塔で、高さ 169.3m の世界一の石造建築物でワシントン DC ではこれより高い建築物を制限しているようだ。早朝なので行列もなく、エレベータで展望階まで上がる。小さな窓より外を眺めるが眺望悪し。この塔は1848年に工事をはじめ、1854年から始まった南北戦争で25年中断しており、よく見ると上2/3の色の違うのがわかる。石は世界中から集められ日本の石もあるとのこと

記念塔から国会議事堂 (Capitol) に向かって北側に並ぶ、アメリカ歴史博物館、自然史博物館、ナショナルギャラリー最後にキャピトルと駆け足で見て歩く

紙数の関係で一言ずつ印象などを述べる
アメリカ歴史博物館 フォードT型からレーシングカー等の自動車をはじめ、約70年前に時速 130km でアメリカ大陸を疾走した巨大な蒸気機関車 現在でも走行可能とのこと

自然史博物館 入口から入ると円形の大広間には大きなアフリカ象が迎えてくれる

ナショナルギャラリー 美術館は西館の13~19世紀のコレクション、東館は20世紀の現代美術

キャピトル だれでも入れるのが奇妙なぐらい 赤絨毯の廊下を素どおりする途中で議員さんにテレビがインタビューしている

帰国の途へ 02/24雨 ホテルを6:00出発 IAD へ 8:15発の UA6529 便でニューヨーク経由で帰国の予定? ところがゲートまで進んだのにキャンセルになる。

ターボプロップの飛行機 DASH8-300 に乗り損ねる 折衝に一苦勞 結局、空港近くのマリOTTホテルに泊めてもらい 02/25の NH001 便で帰ることになる。

ところが一日遅れたことで、日本から商用でこちらに来ている樺島紳一郎君 (40年卒) に会えることになり、同夜はアメリカで二回目の同窓会を開くことになる。

渡辺(昭和30年工卒)

石元、川上、玉井(昭和40年経・商卒)

窪田先輩ご苦労さま会

平成6年4月3日(日)
於「除園」

昭和39年卒業以来の長きにわたりコーチ、監督と、第一線で同志社航空部を指導されてこられた窪田先輩の「ご苦労さま会」を4月3日大阪北区の「除園」で行ないました。

お忙しい中、ご遠方の福岡から豊浦、斉藤さん、東京、横浜より樺島、末吉さんが出席されました。又、龍谷大学の高浜、吉岡、瀬川さんも「窪田先輩にはほんとうにお世話になりました。」とご参加いただき、現役学生も含めて80余名の宴となりました。

かつては、「翼の休まる時がない」猛訓練で「同志社に窪田あり！」と恐れられた窪田先輩も夫人同伴で小野、坂口先生、恩師の牧野さん、橋本大先輩方と同席されて、今日ばかりは、「俺は

何をすればええのや？」と妙に落ちつかないようでした。それでも「窪田さんには怒られた事はあってもほめられた事は一度もない」元訓練生達に囲まれてしばし懐かしい青春時代にタイムスリップ、大空へのロマンと情熱の楽しいひとときをすごされました。

もちろん今後も同志社航空部顧問として坂口部長先生、新庄監督、森川ヘッドコーチと共に航空部の指導育成にあたられます。そして「大空への憧れと情熱」で念願の「全国制覇」を勝ち取られる様心から応援してゆきたいと思います。—窪田先輩ほんとうに長い間ご苦労さまでした。—

(昭和45年文卒 南村 記)



43年同期会

白石美寿ず

私達仲間は、2年に1回一泊二日の同窓会を開くという楽しみを持っています。急遽、阿倍ファミリーが九州から上京されるというのでその日程に合わせて集まることにしました。5月3日の連休ということで東京の連中や関西連も先に予定が詰まっていた欠席も多く7人とそのファミリーで計17名でした。

私が幹事ということになり嵐山にも近い松尾大社のすぐ傍の「あみ船小島」で焼き焼をいただきました。

近くの桂にお住まいの桐山先輩にも出席してもらい久しぶりにタイムトンネルを約25年?程戻って楽しいひとときをふれあいました。ビール、菓子、肉なんでも持ちこんで会計一人1500円忘れられない程安くて気楽な処でした。食後は、鈴虫寺と竹の寺で有名な地藏院を散歩してお茶を一服よばれました。その後、解散しましたが一部の人は竹鼻氏宅で二次会だったとか。行きたかったなー。

幸か不幸かどの人も学生の時と少しも変わって

いなくてうれしいなあ。子供さんの成長ぶりには、目に見はるものがあり奥様方も楽しい人ばかりでずーと以前からの知り合いのような気がします。ほのぼの家族の集まりです。

阿倍氏が放送大学の講師で衛星放送に出演されます。楽しみにしています。来春かな?

肝心の京都在住の私の家族は、主人も子供もバラバラ家に帰ってから子供等に一言。『今度の集まりの時は来てや お小使いあげるし』……と、どうなりますやら……。

2年後のみんなとの再会を楽しみにしています。その時の年は?へー

京都では、紅葉のたよりもチラホラと届く今日比頃です。平素は航空部の為にいつもご協力いただき有難うございます。5月にS43年の同窓会を開きました。竹鼻氏より原稿の依頼がありましたので思いつくまま書いてみました。

(昭和43年文萃)



北村ファミリー 木村ファミリー
阿倍ファミリー 赤見ファミリー
竹鼻ファミリー 桐山ファミリー
白石ファミリー

関東支部忘年会

樺島 紳一郎

関東在住翔友会会員の忘年会を、1993年12月24日に西新宿の「ワイズ・カフェテリア」にて開催いたしましたので御報告申し上げます。

今回は予想以上に多くの会員が出席され、非常に賑やかな忘年会となりましたが、相変わらず若い会員の出席がほとんどなく、今後どのように彼等にアピールして行くか毎度の事ながら頭を痛めています。一応私の知る限りの会員には案内状を出して連絡する様に求めたのですが、当日の出席者以外で出欠の連絡があったのは僅かに2名、出席者は16名で同封写真で御覧の通りです。

以上、簡単ですが報告致します。

(昭和40年法卒)



橋	宮	小	安	森	山	山	山	鬼
	原	袋	元	川	田	田	田	頭
					(例)	(道)	(裕)	
		樺	楨	山	河	河	末	梶
		島	原	上	口	合	吉	田

東海支部ゴルフコンペ便り

宮地 隆昌

去る11月の末、東海支部のゴルフコンペを開催しました。前日には、恒例となりました、木曾川滑空場へ現役学生の合宿訓練の激励訪問と日吉ハイランドクラブ(岐阜県瑞浪市)のロッジにて忘年会を行いました。今回はOB諸氏の都合が合わない方々の中で遠路はるばる橋本先輩(翔友会ゴルフメンバーの長老)に参加していただき、いつになく和やかなゴルフでした。コンペの結果は、いつも厳しいハンデに涙を飲んでた向井氏が優勝。楽しい2日間でした。

例年この催は、木曾川滑空場の激励訪問とセットで行うため日程に多少無理な面がありました。今回は、別の嗜好で春頃、東海支部の集りを行う予定であります。その時はみなさんの参加(特に若手のOB)をお願い致します。

(昭和56年商卒)



橋本
中村(洋)
向井
加藤(賢)
宮地



第7回翔友会ゴルフ会

平成5年10月23日(祝)
於彦根カントリークラブ

今年も絶好の天気にも恵まれて第7回翔友会ゴルフ会を彦根カントリークラブで行ないました。ゴルフは何と言ってもメンバーに恵まれてのもの。かつての翔友との年一度のラウンドが一番楽しいものです。

今年は久しぶりに東京から河合大先輩(S21年卒)も元気にご参加されました。(H.D12でずず!)又、若手(S62年卒)の松岡OBが初参加されました。

競技の方は大激戦の末、「俺を忘れてもらっちゃこまるぜ!」と地元一圓先輩が見事初優勝、二位には山井OB、加藤賢OBが三位に入賞されました。これで栄光の「翔友杯」も一年間一圓商事の役員室にかざられる事となりました。

ゴルフ会も7回目となり参加される方も多くな

ってまいりました。関東支部でもゴルフ会が開かれるとお聞きしております。出来れば静岡あたりで「東西OB対抗戦」なども楽しい計画ではないかと思っております。

(昭和45年文卒 南村 記)



加 藤 賢	松 岡	宮 地	南 村	加 藤 寛	山 田 正	西 田	一 圓	山 井
		窪 田	向 井	佐 々 木	橋 本		河 合	政

H-23CとハトK-14を復元する会

この歳になっても、瞼を閉じて、心を澄ますと…

の書き出しではじまった復元する会の呼びかけは、いくつになっても萬年青年の窪田前監督のアローヘッドとイオラスに対する思いのたけを込めた心の呼びかけでもあります。

寒い寒い平成5年12月4日、第1回会合を田辺格納庫で開き、まず機体の現状の点検と今後の作業の進め方、並びに役割分担などを相談しましたが、結構忙しい1日でした。

なにしろ設計図も残っておりませんし、部品もバラバラ、補充するにも現物は現存せず、全て一からの手造り作業に頼らなければなりません。40年近く昔のことで各人の記憶も定かでなく、ホトホト困る場面もありました。

しかしその後、OB 総会で皆様にご案内いたしましたところ、早速心暖まるご援助の志を多数の

OBの方々から寄せていただき、発起人一同大感激でございまして、厚くお礼を申し上げる次第であります。

白髪交りのOBが老眼鏡をかけ、おぼつかない手つきでベコベコにフヤけたベニヤ板を修理している姿は、さすがにかつてのグライダーマンの面影ヤクジョで思はず頭が下がります。たとえ再び大空に飛び上ることは出来なくとも、アローヘッド、イオラスのかつての勇姿を再現すべく、可能な限り原型に近い形の復元を目指して頑張っております。

作業はまだ当分困難な道程を歩まなければならないと思いますが、皆様のご協力を支へに最後まで頑張りたいと考えています。

(発起人一同)



三浦 永田 佐々木 牧野 南村 吉川 窪田 発起人一同

(後方はプライマリーの現状です)